

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 Atelierみるく やんばる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2	職員の配置数は適切である	6		・個別活動をご希望されている利用者様にはマンツーマンで行っております	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4		・玄関、トイレに手すりを設置しており、駐車場にも優先車両スペースを設けて安全に配慮しています。階段や段差などの安全性については改善の余地があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・レッスンが始まる前に清掃や準備を行っております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		・日頃のお子様の様子や保護者様からのご意見などを職員間で共有し、より良い支援を行っていけるよう努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		・自己評価の結果を職員間で共有し、業務の改善に繋げていきたいと思っております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		・現在、外部評価は行っておりません。保護者様にアンケートのをお願いしております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・適宜、研修や勉強会に参加しております。	・職員研修や、外部の講師を招くなど資質向上に努めております。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1	・アセスメントシートや直接聞き取り、保護者様の主訴を受けて計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	適宜子ども達の様子を共有しレッスンの内容を確認しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・その時の状況を判断しながら適宜、対応しています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		・お子様の成長や発達に合わせた支援をしています。	・個別活動をご希望されている利用者様もいますので、主訴を尊重して対応しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	5	・レッスンが続いている際は難しいことがあります。	・時間が取れない場合は、空いている時間やミーティングで情報を共有しております。時間の確保は要改善する必要があります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5	・その日のうちに振り返りをする時間を設けられない事が多い為、記録をしっかり残しての共有しております。	・その日の振り返りが困難な場合は、記録にて共有することや別日、空いている時間を使用して情報共有をしております。時間の確保は要改善の必要があります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	・状況に応じて電話やオンラインでの対応も行っております。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	4		・ご希望に応じて、事業所内相談などの対応をしております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	2		・医療的ケアが必要なお子様には保護者様や医療機関、主治医と情報共有をしながら支援内容を検討し、支援に努めて参りたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	・保育所等訪問の機会なども利用して情報共有を行っています。	・保護者様のご希望に応じて保育所等訪問支援を取り入れ、各関係機関と連携し支援を行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	・保育所等訪問の機会なども利用して情報共有を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		・外部講師より助言や研修を受けるなどの機会を設けてあります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	・定型発達児との交流活動を行っています。	てい〜だキッズミュージアム、てい〜だバレエ、みんなのアトリエ等のお子様たちと交流クラスを設けており、インクルーシブな活動を実地しております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		・コロナウイルス感染予防のため参加が厳しい状況にありました。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・レッスン中の様子や成長していることを動画に収め、必要に応じてLINEや電話連絡で保護者様にお伝えしています。	・毎回のレッスンの様子を極力伝えられるように努めています。しかし送迎が難しく話をするタイミングが少ない保護者様には文書で共通理解を図っております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	4		・特別な機会を設けていませんが、必要に応じて助言をさせていただいたり、事業所内相談として対応しております。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	・保護者様の悩み等は管理者に伝えられ、必要な助言と支援が行われています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	・保護者様向けの研修を開催しています。	・定期的にオンラインでの勉強会は開催していましたが、コロナウイルス感染予防の為、対面での開催は控えさせていただきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	・掲示やグループLINEを利用して周知しています。	・特別プログラムのお知らせやレッスンの様子、作品などをLINEで保護者様に発信しております
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	5	・マニュアル等は確認しています。	・定期的な訓練を定着させる必要があります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	5		・スタッフ間での情報共有や連携などをしっかり行い、改善する余地があります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	2		・契約時に服薬、てんかん等の確認、情報共有をしていただいています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		・食物アレルギーをお持ちのお子様には飲食の提供はありません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	4	・利用者様の気になる行動は適宜、周知しています。	・職員間で情報共有し安全に支援に努めております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	・契約時に説明を行っております。	・虐待防止についての職員住宅研修を受け、確認を行っております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。